

## 2017 春闘勝利！ 県交運労協・県公務労協総決起集会

2017年3月9日（木）18時より、反町公園（JR東神奈川駅から徒歩5分・京浜急行本線 仲木戸駅から徒歩7分）にて、「2017春闘勝利！！県交運労協・県公務労協 総決起集会」が開催されました。JR線沿いにあり、スケート場と専門学校に挟まれる反町公園に、それぞれの労働組合が掲げた、赤・青・黄・緑・白・ピンクなどの桃太郎旗が揺れる風が冷たい日でしたが、多くの仲間たちが集結しました。



始めに宍戸氏（県交運労協議長）より開会挨拶があり、本日の決起集会議長に倉茂氏（県交運労協幹事）が就任され進行しました。主催者代表挨拶に千葉氏（県公務労協議長）からは「我々の仕事は国民の生活維持にとっても必要ですが、そこに働く私達の生活は一向に良くならない、その為にも底上げ・底支え・格差是正を重点課題として取り組む事を誓う！」と力強く宣言しました。

次に来賓挨拶として柏木氏（連合神奈川会長）より「2017春闘、この闘いは賃上げだけの意味ではなく、労働者の働き方改革が強く込められた闘いであり、絶対に負けられない闘いである。」と電車の騒音に負けず反町公園全体に力強く響き渡りました。

基調報告には石渡氏（県公務労協事務局長）より、県公務労協・県交運労協の集会基調「大幅賃金引上げ、正規雇用の拡大、格差と貧困解消、公務員の労働基本権回復、民主的公務員制度実現、教育の格差解消、年金・医療・介護制度の充実、規制緩和反対、在日米軍基地機能強化反対、憲法改悪阻止」について丁寧に説明されました。

我われ運輸産業に従事するものにとって『働き方改革実現会議』の動向、特に36協定上限規制の適用除外は、現在のドライバー不足に拍車をかける結果になる深刻な問題であり、今後の動向にも注視していきたい。続いて、神高教と県私鉄より、2017春闘勝利に向けた決意表明がされた後に、平野氏（県交運労協幹事）より集会宣言が読み上げられました。

最後に千葉氏（県公務労協議長）の「団結頑張ろう」三唱で集会全体の気持ちを一つにした後に、デモ行進の案内とデモコース説明「反町公園～泉町（左折）～鶴屋町三丁目手前（横断）～沢渡中央公園（流れ解散）」までとする事の確認が梶ヶ谷氏（県公務労協事務局次長）よりありました。

J P 労組・全駐労・全水道・全印刷・国公総連・林野労組・県交運労協・都市公評・自治労・神高教・神教組の団体が第1～第6グループに分かれ、沿道の市民・勤労者の皆様へ「経済の回復基調に合わせた勤労者が実感できる賃金・労働条件の改善を求めため。また、雇用と福祉を破壊し、戦争準備に邁進する安倍政権の暴挙・暴走を許さず、平和と民主主義を希求し、9条をはじめとする憲法の改悪を許さない事、また、生活の維持・向上に向けた積極的な賃金引上げ、非正規労働者の権利拡大・均等待遇の実現、誰もが安全で安心して暮らせる社会の実現をめざすとともに、働きがいのある人間的な労働を中心とする、共に生きる社会の創造し、それを支える公共サービスの実現を目指すなど、多岐にわたるシュプレヒコールでしたが、春闘や労働環境改善の取り組みと平和や憲法問題などを訴えていましたが、少し焦点がぼやけてしまうのでは・・・と感じました。

